

赤十字さが



いのちを守る。
新たな世界の下で。

感染対策を講じながら行われた救護班の研修。(→詳しくはP.6)

今、赤十字にできること。～コロナ禍の佐賀県支部の活動～

■ 感染拡大に伴う献血のお願い

■ 自己判断による受診控えはやめましょう！



公式Instagram開設！



公式Facebook更新中。

今、赤十字にできること。～コロナ禍の佐

新型コロナウイルスの感染が日本で初めて確認されてから、1年以上が経ちました。感染拡大に伴う緊急・応急的対応に終始した令和元年度、令和2年度を経て、令和3年度は「Withコロナ」、「Afterコロナ」の時代への適応が求められています。

今、赤十字に何ができるのか、何を求められているのか、自分たちに問い続けながら、日赤佐賀県支部では人道の実現のため、これからも活動を続けていきます。

新たに 始めたこと。

新出前講座スタート！

～コロナ禍での差別や偏見をなくそう！～

新型コロナウイルスの感染拡大が進む中、差別や偏見、いじめが表出し、社会問題化しています。

日赤佐賀県支部では、差別の現状やコロナがもたらす心の変化、対応方法を理解し、よりよい行動を実行する児童・生徒を育成するために、青少年赤十字(JRC)活動の一環として、小・中・高校生向けの講習を新設しました。

「プロジェクトM」への参画 ～県内の医療体制強化に協力！～



医療資器材の調達・保管、管理を行っています。
(日赤佐賀県支部救護倉庫内)



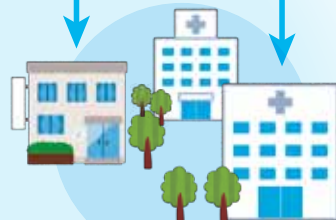
医療機関へ配送する資器材を車両に積み様子。
(日赤佐賀県支部)

日本赤十字社 佐賀県支部

①医療資器材の不足分を連絡



③配送



県内の感染症指定医療機関や
協力医療機関等

佐賀県が新型コロナウイルス感染症の感染拡大を見据え、病床機能の確保等の医療提供体制を強化するため、令和2年度にスタートさせた「プロジェクトM」。

日赤佐賀県支部は県からの委託を受け、このプロジェクトに参画し、県内の感染症指定医療機関や協力医療機関等に対し感染防止のための医療資器材等を円滑に供給するため、資器材等の調達、保管・管理、及び配送を行っています。

賀県支部の活動～



防災・減災の取り組み ～コロナ禍でも、災害に備える。～

2021年3月11日、東日本大震災から10年が経ちました。

この10年間に、大規模な自然災害がいくつも発生し、日赤では医療救護活動をはじめとした被災地の支援活動を行ってきました。

今後もいつ発生するかわからない災害に備えて、救護班員の能力向上や、関係機関との連携強化、防災・減災の呼びかけが求められています。これらの取り組みは、コロナ禍の状況においても継続していかなければなりません。

日赤佐賀県支部では、感染症対策を十分に講じながら、訓練や防災意識の啓発活動をこれからも続けていきます。

救護班研修



研修前に検温を行う様子。

防災セミナー



セミナー講師はマスクを着用しています。



いのちと健康を守る赤十字講習 ～感染症対策を講じながら、実施しています。～

- ▶ 参加者の健康チェック
- ▶ 受講人数制限
- ▶ 講習資料の消毒
- ▶ 講師の検温、マスク着用

いのちと健康を守る赤十字講習(救急法、幼児安全法、水上安全法、健康生活支援講習)は、上記のような感染症対策を講じながら、各種講習会を実施しています。

詳しくは日赤佐賀県支部事業推進課(TEL 0952-25-3108)までお問い合わせください。

防災・減災の取り組み、赤十字講習、出前講座などの活動は、皆様からお寄せいただく「活動資金」により支えられています。

※「プロジェクトM」は佐賀県からの委託事業費により行っています。



寄付方法、講習等の申し込みはこちらから
(日赤佐賀県支部webサイト)

活動資金にご協力いただける方へ(クレジットカードによるご寄付の流れ)

1

寄付申し込み

日赤佐賀県支部ホームページ(右上QRコード)にアクセスし、左下「寄付する」ボタンをクリック。

2



「寄付で赤十字を支援する」をクリック。

3



「寄付申し込み入力フォーム」に必要事項を入力。

新型コロナウイルスの 感染拡大に伴う献血のお願い



コロナ禍においても、献血にご理解・ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。全国では毎日約3,000人の患者さんが輸血用血液を必要としています。患者さんのいのちを繋ぐ献血は、不要不急の外出にあたりません。医療機関へ安定的に血液製剤をお届けするため、引き続き多くの皆さまからの献血のご協力をお願い申し上げます。

なお、血液センターでは、新型コロナウイルス感染症に対する対策を行い、皆さまに安心して足を運んでいただけるよう、安全な献血会場の運営に取り組んでおります。

「献血プラザさが」
場所・受付時間等



「献血バス」
運行スケジュール



献血会場における 新型コロナウイルス 感染対策について

ご入場時のお願い		
 マスク着用 ※マスクを着用できない方は顔罩へ お換えください。	 体温測定 ※数値が測定された方は 入場後に検温していただきます。	 手洗い又は 手指消毒
混雑・密集回避のためのお願い		
 事前予約 ※予約時間にお越しください。 （事前予約がない場合は入場できない場合があります）	 少人数でご来場 ※来場の際は控え線までお進みください。	 十分に休憩した後は 速やかな帰宅
職員と会場内の取り組み		
 職員のマスク着用・ 体温測定・手指消毒の 徹底	 換気と消毒清掃の 徹底	 手指消毒液の 設置

日本赤十字社 人間を救うのは、人間だ。 Support for humanity

《献血の際はご予約をお願いします》

献血をされる方が一時的に集中することを避け、日々必要な血液を安定的に医療機関へお届けするため、献血ルームおよび一部の献血バスにて、献血のご協力をいただく際には可能な限り、前日の17時までにご予約をお願いしております。皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

ご予約の際はぜひ献血Web会員サービス「ラブラッド」よりお願いいたします。ご不明な点等ございましたら、お気軽に佐賀県赤十字血液センターまでお電話ください。(Tel0952-32-1011)

献血Web会員サービス ラブラッド



会員になると…

- ▶ 全国すべての献血ルームの予約が可能に！
 - ▶ ポイントを貯めて記念品と交換！
 - ▶ 血液の検査結果等を含む献血記録がいち早くわかる！
 - ▶ 過去の献血記録が確認できる！
- などなど便利なサービスがたくさんあります！



入会はコチラから
お願いするっ！



日本赤十字社 佐賀県支部

佐賀県支部のホームページを リニューアルしました！

URL

<https://www.jrc.or.jp/chapter/saga/>

2021年4月1日より、佐賀県支部のホームページが新しくなりました。

募集中の義援金や、講習の開催日程をはじめとした、日赤佐賀県支部の最新情報について、随時更新していきます。
この機会にぜひ、より見やすくなったホームページをのぞきにきてくださいね。



唐津赤十字病院

自己判断による受診控えはやめましょう！

新型コロナウイルス感染症の流行が長期化しており、コロナ以外の病気でも軽症の方だけでなく重症の方までも受診を控えらるケースが全国的に増えているようです。

コロナ禍においては個々が3密を避けて行動することが重要です。しかし、病気はコロナだけでなく、それぞれが抱えておられる病気もさまざまかと思います。そのような疾患をお持ちの方にとっては、軽症の内に適切な治療を行い、重症化する前に対処することも重要です。

コロナを恐れるあまり、受診機会を自己判断で先延ばしにすることはやめるようにしましょう。

もちろん感染リスクを下げるために手術を延期する場合がありますが、現在の症状を確認して、医師とともに適切な治療を考えましょう。

皆様に安心して医療を受けていただけるよう、我々も感染制御に全力で取り組んでいます。



11月

4(水)

大切にに使わせていただきます。

■株式会社新富商事様から唐津赤十字病院へ
寄付金が贈呈されました。

株式会社新富商事様は、SDGsの取組みに賛同され、株式会社佐賀銀行様の「SDGs私募債「地域の芽 未来の芽・育む債」」という商品の発行を通して、コロナ禍でも奮闘する医療機関の役に立ちたいの思いで寄付金を贈呈されました。

頂いた寄付金は病院運営のために大切に使用させていただきます。心より感謝申し上げます。



+ November

11月

15(日)

偏見のない世界をつくる

■Webで世界のユースメンバーと交流

「令和2年度青少年赤十字(JRC)国際交流事業」が新型コロナウイルス感染症拡大の影響でweb形式で開催されました。

日赤佐賀県支部からは、高校生4名と、指導者協議会から現役の英語教師1名が参加。高校生メンバーは先生のサポートを受けながら積極的に英語でのコミュニケーションを行い、18の国と地域の赤十字ユースメンバーと交流しました。

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い蔓延する差別や偏見に目を向け、どう行動していけばいいのか、他国の赤十字メンバーと意見を交わしていました。



11月

28(土)

日赤佐賀県支部常備救護班要員の研修会を開催！

■コロナ禍でも救護活動が続けるために

「令和2年度 日本赤十字社佐賀県支部 常備救護班 研修会」を唐津赤十字病院にて行いました。

参加した常備救護班4班のメンバー24名(医師、看護師、事務職員)は、赤十字の災害救護活動の歴史から、最近の救護活動の実態などについて学びました。

近年災害が頻発し、日赤の救護班の出番も増えてきています。コロナ禍でも救護班のメンバーが安心して被災地での支援活動が続けていけるよう、日赤ではこうした訓練や研修を続けていきます。



12月

1(火)~25(金)

令和2年度 第38回

「NHK海外たすけあい」キャンペーンを実施！

■街頭募金は中止

12月1日(火)から12月25日(金)にかけて「NHK海外たすけあい」キャンペーンを実施しました。

第38回目となった今回は、新型コロナウイルスの感染拡大により、日赤佐賀県支部主催の街頭募金は中止となりましたが、県内3施設やNHK佐賀放送局の特設窓口には、多くの方から温かいご支援が寄せられました。皆様からお寄せいただいた寄付金は、世界で災害や病気、紛争に苦しむ人々を支援する日本赤十字社の国際活動のために使われます。



+ December

12月

8(火)

いつも優しい笑顔をありがとうございます

■県内の小中学生からの応援メッセージの贈呈

佐賀県が、奮闘する医療従事者等への応援メッセージを県内の小中学生に募集したところ、約9,600通の応募があり、そのうち80通が唐津赤十字病院に、16通が日赤佐賀県支部に届けられました。

「ぼくたちも手洗い、うがい、マスクをしっかりとるのでがんばってください!」

「いつも優しい笑顔で対応してくださってありがとうございます」

「心から応援しています!」

心温まるたくさんの応援メッセージ、ありがとうございました!



12月
24(木)

クリスマス演奏会を開催しました

唐津赤十字病院の1階ラウンジにおいて、クリスマス演奏会が開催されました。
 当院の職員とボランティアによる弦楽四重奏によって、「星に願いを」や山下達郎さんの「クリスマス・イブ」などの曲目が披露され、患者さんや職員に癒しを与えてくれました。
 普段なかなか聴くことのできない生演奏に触れて、会場は幸福感に包まれました。



1月
11(月・祝)

はたちの献血キャンペーン

■ゆめタウン佐賀にて呼びかけを実施

毎年、成人の日に開催している「はたちの献血キャンペーン」イベントを今年も実施しました。今年は新型コロナウイルスの影響でステージイベントを行うことができませんでしたが、移動献血バスによる献血の受付を行い、57名の方に献血のご協力をいただき、対象者にキャンペーングッズをプレゼントしました。



+ January

2月
4(木)

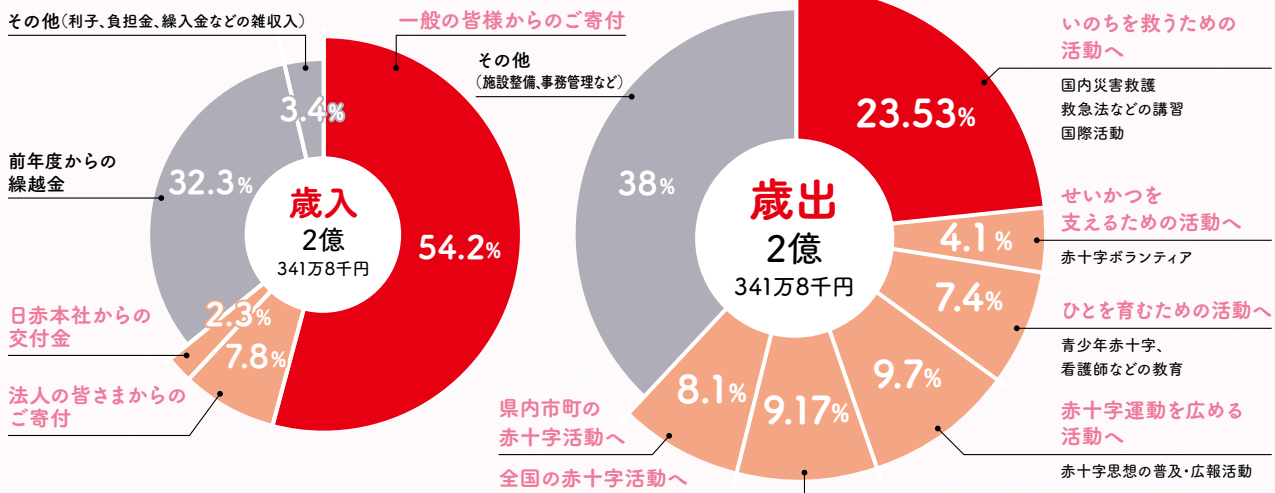
令和2年度“第2回支部評議員会”を開催！

■R3年度事業計画と予算が承認されました

評議員会は支部の最高議決機関です。支部及び唐津赤十字病院の事業計画と予算のほか、佐賀県赤十字血液センターの事業計画について説明がありました。

+ February

[令和3年度 佐賀県支部予算]



※唐津赤十字病院及び赤十字血液センターの活動については、別会計で運営しています。

2月
27(土)

初の救護班主事研修を開催！

■被災地での活動をシミュレーション

唐津赤十字病院にて「救護班主事研修会」を開催。県内の赤十字施設(佐賀県支部、唐津赤十字病院・佐賀県赤十字血液センター)から主事12名、運営スタッフ14名の合計26名が参加しました。
 自然災害が激甚化・頻発化する近年、日赤救護班の活動は、医療救護に留まらず、被災者のニーズに即した柔軟な支援が求められています。

そこで、救護班の中で庶務的な役割を果たす主事のスキルアップを目的に、基礎知識に関する講義や現地での実際の活動のシミュレーション、報告様式、通信手段等の確認を行いました。





青少年赤十字 賛助奉仕団

Red Cross Supporters



【教員を退職後、ボランティアとして活動する夏秋委員長
(青少年赤十字指導者育成研修会にて)】

“教員OBとして、学校現場(青少年赤十字加盟校)との橋渡しを”

日赤が展開する9つの事業。その一つである「青少年赤十字」は、子どもたちが赤十字精神に基づいて「人の命と尊厳」を大切にする人道的価値観を身につけ、行動できるようになることを目指して行われています。

そこで、佐賀県内の青少年赤十字の普及、各学校への加盟促進、青少年の健全育成に寄与するために結成されたのが**青少年赤十字賛助奉仕団**です。

平成9年2月28日に佐賀県青少年赤十字賛助会として発足し、平成14年4月1日より佐賀県青少年赤十字賛助奉仕団へ移行して活動が引き継がれました。

現在、団員は61名。教員を退職された方の中で、青少年赤十字指導者として活動経験のある方や、青少年赤十字に深い理解と認識を持たれた方々により組織されています。

具体的な活動として、現役の教員により組織される佐賀県青少年赤十字指導者協議会の事業である**青少年赤十字指導者育成研修会**や、**青少年赤十字**

リーダーシップ・トレーニング・センターでのお手伝い、**指導者協議会総会**や**加盟校長等研修会**での受付業務、海外たすけあい街頭募金活動への協力など、県内の青少年赤十字活動が充実するための支援を行っています。

永年、佐賀県の青少年赤十字の活動に携わってこられた**夏秋正倫委員長**。

佐賀県青少年赤十字指導者協議会の顧問として、加盟校生徒のリーダーシップ育成や、若手指導者の育成に尽力され、退職後は同奉仕団委員長として、同協議会と連携を図りながら佐賀県の青少年赤十字活動を支えています。

「教員OBとして、学校現場との橋渡しになればと思い、活動しています。」

赤十字の活動は多くのボランティアの方に支えられています。

ボランティア活動に興味のある方は、ぜひ佐賀県支部までお問い合わせください。



佐賀県支部

唐津赤十字病院

佐賀県赤十字血液センター

〒840-0843 佐賀市川原町2番45号
TEL.0952-25-3108

〒847-8588 唐津市和多田2430番
TEL.0955-72-5111

〒849-0925 佐賀市八丁囃子10-20
TEL.0952-32-1011



ご愛読
ありがとうございます。